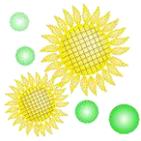


2018年9月



生活支援コーディネーターニュース

～ささえあいの地域づくりを目指して～

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 地域福祉課

〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15

豊中市すこやかプラザ内 TEL 6848-1279

第1層(豊中市域)

第2層(日常生活圏域)

第3層(小学校区)

～平成30年度 生活支援コーディネーター支援計画～

第1層 全市でのサービス開発や資源開発、関係者のネットワーク化を推進します

- 第1層の協議体設置・運営(年3回)
- 介護予防・生活支援フォーラムの開催
(第1層・第2層協議体兼ねる)
- マンションサミットの開催(年2回)
- 敬老の集いでの地域活動等の啓発
- 生活支援コーディネーターニュースの発行(年3回)
- フェイスブックの運営
- 介護予防お助けバンクの活用
- 道端の駅
- 豊中あぐりプロジェクト*
- 内職広場* ※:将来的には第2層での実施をめざす
- 男性ヘルシーシニアクッキング
- 教養講座(ONCC、NALC、老人クラブ、老人大学との協力)
- おれんじカフェ(認知症高齢者参加)



- 地域資源の発掘・情報提供
- おおさかえまちプロジェクトへの協力
- とよなか地域ささえ愛ポイントの普及啓発
- 介護予防お助けバンク
- 安心サポーター養成講座の実施(年3回)
- 生活支援コーディネーター連絡会の開催(月1回)
- 住民主体の取り組みに関する相談窓口
- 高齢者等見守りサポートネットワーク(事業者)(年1回)
- 福祉なんでも相談員研修(校区福祉委員会)(年1回)
- ライフセーフティネットの構築
- 介護者の組織化
(男性介護者・若い介護者)
- 課題ごとのプロジェクト
・移送 ・買物支援 など



第2層 生活圏域ごとの課題に対して、必要なサービスや活動を開発します

- 事業説明会(年2回/各圏域)
- 地域福祉活動支援センター単位の地域活動等に関する講座
～介護予防お助けバンクの活用
- 安心サポーター研修・交流会の開催
- ぐんぐん元気塾スタッフ研修(年数回)

- 豊中市社会福祉施設連絡会との連携(新)
- 地域ケア(個別)会議への参加(新)
- シルバー作品展の開催
- 第2層地域ささえあい推進協議体
(地域福祉ネットワーク会議) ケースメソッド・
ワークショップ・圏域内課題共有、関係者の連携

第3層 小学校区単位の取り組みや住民主体ささえあい活動を支援します

- マンション交流会
- 地域福祉巡回講座
- 福祉便利屋事業マッチングおよびメンバー交流会
- 小学校区単位の豊中あぐり
- 住民主体ささえあい活動の展開(ぐんぐん元気塾や福祉便利屋事業の立ち上げ及び運営に向けた支援)

- 福祉なんでも相談窓口
- 第2層地域ささえあい推進協議体(地域福祉ネットワーク会議)で抽出した校区ごとの課題を順次プロジェクト化して解決していく(例:買物支援・外出支援等)
- 各校区単位のローラー作戦
- 小地域福祉ネットワークの推進

課題出し

★平成 29 年度 生活支援

コーディネーターの取り組み★

圏域ごとの課題対応

- 第一層(豊中市域)
- 第二層(生活圏域)
- 第三層(小学校区)

第一層地域ささえあい推進協議体



市内の高齢者支援に関わる団体・行政・当事者団体など31団体が参画。協議体では生活支援コーディネーター支援計画の概要や進捗状況の報告をしながら委員のみなさんから意見をいただいています。

第二層地域福祉ネットワーク会議



小学校区ごとに地域住民や福祉施設、行政で地域の課題を話し合い、解決に向けてのアイデア出しを行いました。

北中部：上野校区 (買い物困難)



福祉施設の協力で駐車場で出前市場を実施

北東部：上新田校区 (外出困難)



地域サロン時にユウーあい号で送迎

中部：克明校区 (買い物困難)



「びーの×マルシェ」を小売商業団体連合会の協力でオープン

新たな連携 高齢者等見守りネットワーク



見守りや生活支援、配食、移送などの事業者のみなさんと連携して、対象を高齢者に限定することなく、見守りしていくことを目指します。

多様な社会参加の場 豊中めぐりプロジェクト



農業を通じた男性の介護予防を目的に、市内3カ所で農園をオープン。メンバーは地域福祉の担い手としても活躍中です。取り組みをまとめた冊子も発行しました。

人材育成 安心サポーター研修



福祉便利屋などの担い手として102名の安心サポーターが誕生!!

介護予防お助けバンク



折り紙教室 歌声広場
あなたの特技を高齢者の介護予防に活かしてみませんか?介護予防講座の講師で大活躍中です

マンションサミット交流会



管理組合に向けて、マンション内のコミュニティづくりをテーマに実施

とよなか道端の駅

高齢者の手作品を「びーの×マルシェ」で常設販売しています

内職広場

高齢者の仕事を通じた社会参加の一環として、週2日、作業をしています

おれんじカフェ

認知症の当事者や介護者が気軽に参加できるカフェです

住民主体ささえあい活動 通所型：ぐんぐん元気塾



大池校区 ぐんぐんフェスティバル (スタッフ研修)
小学校区ごとにとよなかパワーアップ体操を週1回、校区福祉委員会の主催で実施しています(H30.9 現在 28 校区)

訪問型：福祉便利屋



原田校区：ソファの搬出
高齢者のちょっとした困りごとを有償で助け合います (H30.9 現在 9 校区)

第 1 層 地域ささえあい推進協議体

★第 1 回地域ささえあい推進協議体(5/22)

平成30年度第一回目の協議体では、生活支援コーディネーター中期支援計画や、今年度の生活支援コーディネーター支援計画について意見交換を行いました。

～意見いろいろ～

- ・認知症初期は空白の期間ができやすいので、当事者が参加できる場があると良い。あぐりで活動し、販売したお金で少しお小遣いができる…など期待している。(介護者(家族)の会)
- ・地域ごとの取り組みが一覧で見ることができると分かりやすい。(介護者(家族)の会)
- ・2施設で移動販売を実施している。初回はチラシを配布し、人が集まったが、2回目以降は来客数が減ってきているため、認知度に課題を感じている。ぐんぐん元気塾の実施日にあわせて会場で移動販売をすれば、体操ができて買い物もできる場として便利に利用してもらえるのではないかと。(社会福祉施設連絡会)
- ・地域でパワーアップ体操の取り組みをしているが、近いところが行きやすいという方が多いので、場所があればもっと広がるのではないかと。(登録ボランティア)
- ・ぐんぐん元気塾の際にあぐりの野菜を販売したところ、好評だった。翌週も野菜を買うつもりで参加された方がおられた。(校区福祉委員会)
- ・地域で認知症サポーター養成講座の案内をした際に、関心は低かったが、話のきっかけにはなったので、また知らせていきたい。(介護者(家族)の会)
- ・通いの場について、マンション集会室を利用できないか情報収集し、働きかけているところである。中心になってくれる人をどうするかが課題で、参加するだけならやりたいという方は多い。場所を提供してくれる施設があっても、立ち上げに至れていない場合もある。(地域包括支援センター)
- ・会の総会・食事会を8月に実施していたが、今年は5月に変更したところ、例年を超える40名もの参加があった。全体的に食事がある集まりの時は、参加が増える傾向にある。(ひとり暮らし老人の会)

これらの意見を踏まえながら、1Pの支援計画に基づいて、取り組みをすすめていきます。

★大阪北部地震・台風21号被災者支援&マンションサミット交流会★

6/18の大阪北部地震、9/4の台風21号は、豊中市内に多くの被害をもたらしました。市社協では、災害ボランティアセンターを設置し、「倒れた家具を起こしてほしい」「台風で飛ばされてきたものを片づけてほしい」などの依頼に対応しました。ここでは、豊中あぐりや安心サポーターが大活躍!高齢者の困りごとに寄り添ってサポートしていただきました。



また、小学校区単位では民生委員や福祉委員が安否確認を実施。停電でエレベーターが停止したマンションへも足を運びました。

7/7のマンションサミット交流会では、市内のマンションに実施した緊急アンケートをもとに、今回の被災状況を共有しながら、課題を洗い出し、日ごろのコミュニティづくりの大切さを実感するとともに、市内の先進的な取り組みについて事例発表をしました。



大阪北部地震ではブルーシート張りで必要な土のうづくりを豊中あぐりのメンバーで協力